

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年8月11日

上場会社名 日本トランスシティ株式会社
 コード番号 9310 URL <http://www.trancy.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成21年8月13日
 配当支払開始予定日 —

上場取引所 東 名

(氏名) 小林 長久

(氏名) 八代 雅秀

TEL 059-353-5211

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	18,204	△17.9	670	△38.6	728	△38.0	410	△36.5
21年3月期第1四半期	22,166	—	1,091	—	1,173	—	646	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	6.32	5.98
21年3月期第1四半期	9.83	9.31

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	%
22年3月期第1四半期	87,489	—	35,147	39.0	—	—	524.86	—
21年3月期	86,415	—	34,444	38.7	—	—	514.42	—

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 34,100百万円 21年3月期 33,423百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	4.00	—	4.50	8.50
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	3.50	—	4.00	7.50

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期	36,000	△18.5	800	△60.6	800	△62.5	500	△59.0	7.70
連結累計期間	78,000	△5.4	1,800	△22.3	1,800	△29.1	1,100	△24.3	16.93
通期									

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第1四半期 67,142,417株 21年3月期 67,142,417株

② 期末自己株式数 22年3月期第1四半期 2,172,507株 21年3月期 2,169,742株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第1四半期 64,971,229株 21年3月期第1四半期 65,738,710株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

なお、連結業績予想に関する事項については、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期の当社グループの業績は、総合物流事業において、倉庫業では、倉庫保管残高は前年同期に比べ減少し、入出庫にかかる取扱量も荷動きの悪化が著しく前年同期に比べ、大幅に減少し、貨物回転率も大幅に悪化しました。また、物流加工業務については、一般消費財を中心に取扱量はほぼ前年同期並みに推移しました。港湾運送業では、四日市港における海上コンテナをはじめ、輸入原料や輸出自動車など主要品目で前年同期に比べ、取扱量が大幅に減少しました。陸上運送業では、環境に優しい物流として取り組んでいるバルクコンテナ輸送の取扱量はほぼ前年同期並みに推移したものの、荷動きが回復せず、主力のトラック輸送にかかる取扱量は前年同期に比べ大幅に減少しました。国際複合輸送業では、海上輸送の取扱いが輸出・輸入とも低調に推移し、前年同期に比べ、大幅に取扱量が減少しました。このような状況により、総合物流事業全体の売上は、前年同期比 18.0%減の 179 億 2 千 9 百万円となりました。

その他の事業については、依然として厳しい環境下でありましたが、業務の効率化や収支改善に努めました。

以上の結果、当第1四半期の**連結売上高**は、前年同期比 17.9%減の 182 億 4 百万円となり、**連結経常利益**は、各種経費の節減に取り組んだものの、前年同期比 38.0%減の 7 億 2 千 8 百万円となり、**連結四半期純利益**は、前年同期比 36.5%減の 4 億 1 千万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 連結財政状態の変動状況

総資産は、前連結会計年度末と比べ 10 億 7 千 3 百万円増加し、874 億 8 千 9 百万円となりました。純資産は、前連結会計年度末と比べ 7 億 2 百万円増加し、351 億 4 千 7 百万円となりました。

(2) 連結キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の増加額 8 億 4 千万円などがあったものの、税金等調整前四半期純利益 7 億 4 百万円、減価償却費 7 億 5 千万円などにより、4 億 1 千 4 百万円の増加となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形及び無形固定資産の取得による支出 4 億 7 千 2 百万円などにより、5 億 8 千 8 百万円の減少となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額 2 億 9 千 2 百万円、長期借入金の返済による支出 1 億 8 千 1 百万円などにより、4 億 9 千 6 百万円の減少となりました。

これらの結果、現金及び現金同等物の当第1四半期末の残高は、前連結会計年度末に比べ 6 億 4 千 6 百万円減少し、100 億 5 千 5 百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期の業績は、当初見込みよりは比較的堅調に推移しましたが、今後の業績につきましては、先行き不透明なため、平成 21 年 5 月 12 日に公表いたしました第2四半期連結累計期間および通期の業績予想を変更しておりません。

なお、今後の動向により業績に影響を及ぼす場合には、開示基準に従って、速やかに開示いたします。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理および四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① たな卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末のたな卸高の算出については、実地たな卸を省略し、前連結会計年度末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算定しております。

また、たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ簿価切下げを行う方法を採用しております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法を採用しております。

③ 繰延税金資産および繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用しております。

④ 税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,446	10,953
受取手形及び営業未収金	11,821	10,962
たな卸資産	217	117
その他	2,018	1,920
貸倒引当金	△16	△16
流動資産合計	24,488	23,937
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	17,214	17,555
土地	28,715	28,706
その他(純額)	3,913	4,061
有形固定資産合計	49,843	50,323
無形固定資産		
投資その他の資産	674	613
投資有価証券	9,687	8,778
その他	2,825	2,796
貸倒引当金	△29	△34
投資その他の資産合計	12,483	11,540
固定資産合計	63,001	62,477
資産合計	87,489	86,415
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	6,385	6,258
短期借入金	4,157	3,661
1年内返済予定の長期借入金	1,497	1,994
1年内償還予定の新株予約権付社債	1,500	1,500
未払法人税等	312	123
賞与引当金	633	1,099
その他	2,378	1,794
流動負債合計	16,864	16,431
固定負債		
長期借入金	22,713	22,884
再評価に係る繰延税金負債	5,280	5,280
退職給付引当金	2,016	2,015
役員退職慰労引当金	44	51
長期預り保証金	4,071	4,115
負ののれん	41	45
その他	1,309	1,146
固定負債合計	35,477	35,538
負債合計	52,342	51,970

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,428	8,428
資本剰余金	6,734	6,734
利益剰余金	21,050	20,932
自己株式	△941	△941
株主資本合計	35,271	35,154
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	964	443
土地再評価差額金	△2,018	△2,018
為替換算調整勘定	△117	△156
評価・換算差額等合計	△1,171	△1,730
少数株主持分	1,046	1,021
純資産合計	35,147	34,444
負債純資産合計	87,489	86,415

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	22,166	18,204
売上原価	19,581	16,140
売上総利益	2,585	2,063
販売費及び一般管理費	1,493	1,393
営業利益	1,091	670
営業外収益		
受取利息	13	8
受取配当金	67	62
持分法による投資利益	91	62
その他	56	25
営業外収益合計	229	159
営業外費用		
支払利息	109	95
その他	37	5
営業外費用合計	147	101
経常利益	1,173	728
特別利益		
固定資産処分益	3	2
特別利益合計	3	2
特別損失		
固定資産処分損	24	26
その他	0	—
特別損失合計	25	26
税金等調整前四半期純利益	1,151	704
法人税等	484	292
少数株主利益	20	0
四半期純利益	646	410

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,151	704
減価償却費	681	750
賞与引当金の増減額(△は減少)	△440	△465
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△142	1
前払年金費用の増減額(△は増加)	46	△90
受取利息及び受取配当金	△81	△70
支払利息	109	95
売上債権の増減額(△は増加)	△378	△840
仕入債務の増減額(△は減少)	△21	241
未払消費税等の増減額(△は減少)	41	89
その他	△59	25
小計	907	440
利息及び配当金の受取額	162	112
利息の支払額	△38	△36
法人税等の支払額	△375	△102
営業活動によるキャッシュ・フロー	655	414
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△21	△133
定期預金の払戻による収入	47	1
有形及び無形固定資産の取得による支出	△822	△472
その他	9	16
投資活動によるキャッシュ・フロー	△786	△588
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△15	△3
長期借入金の返済による支出	△138	△181
自己株式の取得による支出	△100	△0
配当金の支払額	△296	△292
その他	△1	△18
財務活動によるキャッシュ・フロー	△552	△496
現金及び現金同等物に係る換算差額	△47	24
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△730	△646
現金及び現金同等物の期首残高	11,142	10,701
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	68	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,481	10,055

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。